

あしたのアジア

シンポジウム 2026

地域や歴史の違いをこえて、わたしたちはどんな平和を描けるでしょうか？

沖縄、広島、長崎、カンボジア、韓国、台湾、ベトナムの大学生が沖縄に集い、
和解をテーマにした架空の博物館「アジア平和博物館」を構想します。

11月28日(土)

ともかぜ振興会館ホール

那覇市金城3-5-3 駐車場あり

2:00pm - 4:30pm（開場 1:30pm）

入場無料
事前申込不要

詳細はこちら

スケジュール

第1部｜2:10 pm｜プレゼンテーション

テーマ：わたしたちの考えるアジア平和博物館と
5つの展示室

登壇者：7地域の大学生
（沖縄、広島、長崎、カンボジア、韓国、台湾、ベトナム）

第2部｜3:20 pm｜パネルディスカッション

テーマ：アジアの平和をつなぐ博物館とは
－違いをこえて、ともに描く未来－

登壇者：7地域の大学生（同上）

司　会：新垣 誠（沖縄キリスト教学院大学 教授）

■ 主催：沖縄県　■ 主管：沖縄県平和祈念資料館　■ 運営：特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター Tel：098-866-4635

あしたのアジア シンポジウム 2026

異なる歴史や記憶に耳を傾け、ともに平和な未来を描く。
沖縄、広島、長崎、カンボジア、韓国、台湾、ベトナムの大学生が、
沖縄での学びと対話をもとに、2030年の開館を想定した「アジア平和博物館」を提案します。

スケジュール

2:00　開会挨拶　（沖縄県平和祈念資料館長 大城 友恵）

第1部

2:10~　プレゼンテーション

テーマ：わたしたちの考えるアジア平和博物館と５つの展示室
内　容：①正義、不処罰　②謝罪、赦し、補償　③忘却、記憶、継承
④予防、関係構築　⑤加害、被害をテーマとして5つの展示室を提案します。
登壇者：7地域の大学生
（沖縄、広島、長崎、カンボジア、韓国、台湾、ベトナム）

第2部

3:20~　パネルディスカッション

〈アジアの平和をつなぐ博物館とは　― 違いをこえて、ともに描く未来 ―〉
司　会：新垣 誠（沖縄キリスト教学院大学 教授）
登壇者：7地域の大学生（同上）

4:30　閉会

言　語
日本語（逐次通訳あり）

入場料
無料（事前申込不要）

会　場
ともかぜ振興会館ホール
（那覇市金城3-5-3）
駐車場あり

ご来場にあたって
・本イベントにて撮影された動画・写真の一部は本事業報告書等に記載されます。あらかじめご了承ください。

「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業とは

若い世代への戦争体験等の継承、アジア諸国・地域との相互理解、平和のネットワーク形成を目指して沖縄県平和祈念資料館が実施する国際的な人材育成事業です。当シンポジウムは、本事業に参加したアジア7地域の大学生たちが沖縄での研修を通して学び、考えた「平和への思い」を発信する成果報告会です。

研修期間　2026年11月23日~28日（県内研修）
参加者　沖縄、広島、長崎、カンボジア、韓国、台湾、ベトナムからの大学生ら35名
研修概要　（１）各地の戦争・事件等に関する発表、意見交換
（２）県内視察（沖縄県平和祈念資料館、平和の礎、嘉数高台公園）
（３）専門家による講義　など

詳細はこちら

■ 主催：沖縄県　■ 主管：沖縄県平和祈念資料館　■ 運営：特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター Tel：098-866-4635